

# 二次性高血圧について

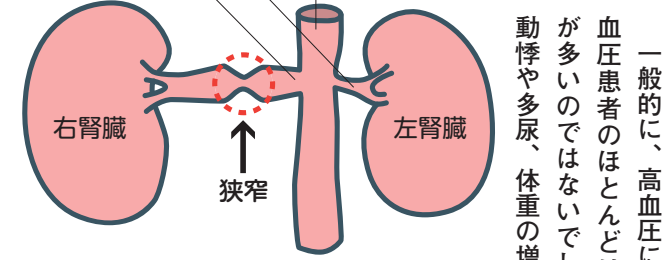
これまで高血圧の危険性や治療、予防するための生活習慣についてお話をしてきましたが、実は高血圧には大きく分けて2種類あることをご存知でしたか？

原因のはっきりしない本態性高血圧と、他の病気や薬が原因で起こる二次性高血圧です。一般的に高血圧といわれているのは

本態性高血圧のことで、日本人の高血圧の約90%を占めており、動脈硬化や塩分過多、運動不足やストレスなどで起こるといわれています。

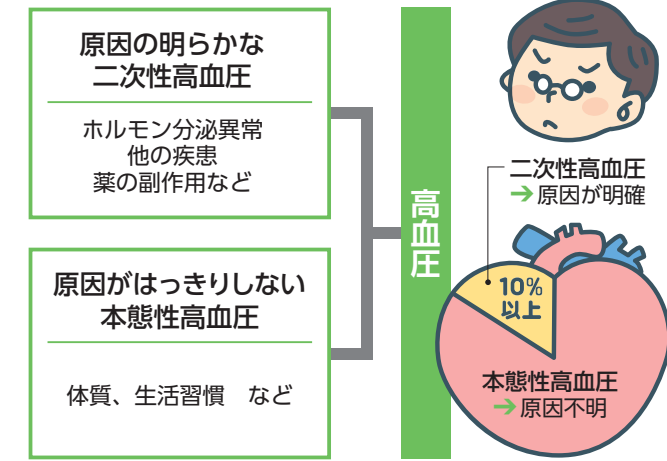
では、二次性高血圧とはどんなもので、なぜ起こるのか。今回はそのことについてお話します。

## 二次性高血圧とは？



腎血管性高血圧の模式図

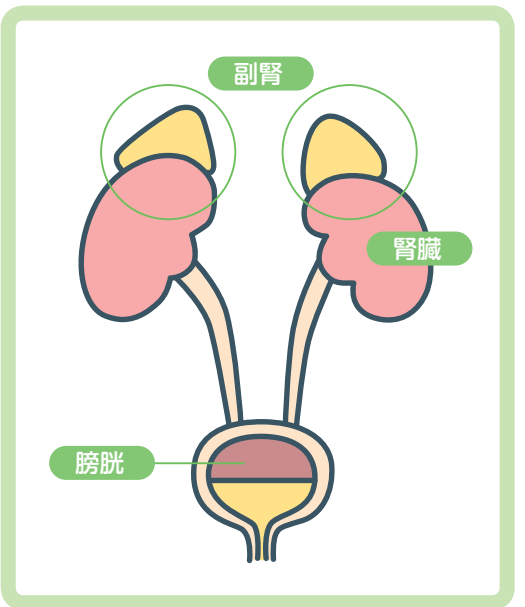
一般的に、高血圧には症状がありません。高血圧患者のほとんどは健診で指摘されることが多いのではないのでしょうか。しかしそこに、動悸や多尿、体重の増減など、はっきりとした症状がある場合、二次性高血圧の可能性を考慮する必要があります。



- 原因の明らかな二次性高血圧
  - ホルモン分泌異常
  - 他の疾患
  - 薬の副作用など
- 原因がはっきりしない本態性高血圧
  - 体質、生活習慣 など

## 2

### 内分泌異常によるもの



腎臓の上にある副腎から分泌されるホルモンの異常により、高血圧が引き起こされることがあります。コルチゾールやアルドステロンなどのステロイドホルモンや、アドレナリンなどのカテコラミンは血圧を上昇させる作用があり、副腎から過剰に分泌されることで高血圧となります。

多くは副腎の腫瘍や過形成により起こるもので、体内のホルモンの数値を確認したり、CT検査によって腫瘍の有無を確認します。必要ならば負荷検査を行って、それによるホルモンの推移をみて確定診断することができます。

診断された場合は、内服治療や腫瘍の切除を行います。

## 3

### 睡眠時無呼吸症候群によるもの

実は睡眠時無呼吸症候群も血圧に大きく関係しています。寝ている間に上気道が閉塞してしまい、一過性の低酸素状態になることで交感神経が働き、血圧が上がります。患者自身は自覚症状に乏しく、いびきや睡眠中に呼吸が止まることを家族に指摘されて受診することが多いようです。さまざまなモニターをつけて就寝し一晩検査することで診断することができます。



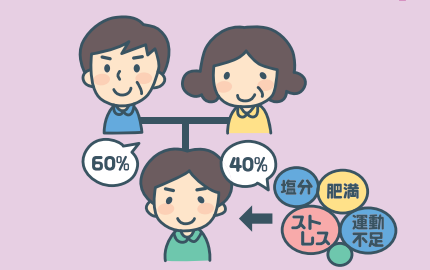
## 1

### 腎疾患によるもの

腎臓は血液をろ過して尿を作りますが、腎臓で塩分を排泄するときに、排泄しにくい環境にあると無理矢理ろ過をしようとして血圧が高くなります。また、腎臓の血管の動脈硬化により血管が細くなり、血圧を上げる物質が分泌されて血圧が高くなることもあります。

腎臓の機能そのものが悪くなっていないか、腎臓の血流が悪くなっていないか検査をすることで診断ができます。

### 教えて！ 河合先生



Q 高血圧は遺伝する？

本態性高血圧(いわゆる高血圧)は、遺伝的要因と環境的要因が複雑に絡み合って発症すると言われています。遺伝子型が同じ一卵性双生児を対象に行った研究では、高血圧の発症には遺伝的要因が60%、環境的要因が40%関係することがわかっています。環境因子としては、これまでもお話ししたような、食塩の過剰摂取や運動不足などがあり、たとえ両親が高血圧であったとしても、自分自身の生活習慣を見直すことで高血圧を予防することができるのです。



★次回は「妊娠高血圧症候群」をお話します。